

ぞうの赤ちゃんは、生まれたときは、とても小さなからだをしています。ながいはなや 大きな耳はありますが、おかあさんのようになりっぱなしは まだありません。

ぞうの赤ちゃんは、生まれるとすぐに足をふんばって 立ち上がろうとします。三十分もすると、じぶんの足で立ち上がります。そして、おかあさんのおちちをすおうと くびをのばします。

生まれて三か月くらいたつと、はなに きんにくがついてきて、草をぬいたり 水をすいあげたりして あそびます。ぬいた草を 口に入れてたべたり、すいあげた水を 口に入れて ごくごくとのむことができるようになります。

上の文しよをよんで、ぞうの赤ちゃんのようすをかきましよう。

生まれたばかりのようす

とても小さなからだをしている。ながいはなや 大きな耳はあるが、おかあさんのようになりっぱなしはない。生まれるとすぐに立ち上がろうとし、三十分もすると立ち上がる。そして、おかあさんのおちちをすおうとくびをのばす。

どのようにして大きくなるか

三か月くらいたつと、はなにきんにくがついてきて、草をぬいたり水をすいあげたりしてあそぶ。ぬいた草を口に入れてたべたり、すいあげた水を口に入れてごくごくとのむ。